

昭和37年9月20日生
平成23年4月福岡県議会議員初当選
平成27年4月二期目
平成31年4月三期目
添田町立添田小学校・添田中学校卒
福岡県立田川高等学校卒
日本大学商学部会計学科卒
麻生セメント株式会社入社・株式会社
麻生情報システム転籍
株式会社麻生情報システム代表取締役
社長

こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com



県政報告

食と緑を守る緑友会福岡県議団

令和3年5月号

福岡県総務企画地域振興委員長
緑友会福岡県議団・幹事長
福岡県議会議員 神崎 聡

令和3年2月22日、県議会2月定例会開会日に、小川知事が辞任されました。原榮性肺腺癌と診断され、九州大学病院で治療を受けられ、入院加療が必要ということでした。小川知事は、知事としての責任と役割を果たせないとお考えになり、断腸の思いで決断されました。

平成23年に知事就任から10年間、本県にお疲れ様でした。度重なる自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大など、厳しい局面も多々あり、大変なご苦労があったことを私たちは承知しています。2月定例会は小川知事が最後に手掛けた最後の予算でありました。小川知事からも「是非とも服部副知事の下で成り立たせていただきますようお願い申し上げます」と県議会に申されました。

二元代表の一翼を担う県議会としても、コロナ禍そして知事不在という二つの非常事態の中で、政治と行政に停滞は許されず、この難局を県民の皆さんと共に、県執行部、県議会が一丸となって乗り越えようと、小川知事を支えて10年、県方に奉職して44年の知事職務代理者であった服部誠太郎副知事を知事候補として推薦し応援してまいりました。

県民の皆さんのたくさんのご支持により、円滑に服部県政へとバトンタッチすることができました。「九州をリードする福岡県」に発展させるために、県執行部と県議会は車の両輪のごとく、取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご指導、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



スマートフォンでも県議会録画中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



大曲昭恵 副知事

江口勝 副知事



確かなバトンタッチ！

知事不在とコロナ危機を乗り越える！

福岡県と、共に県庁生活44年

- コロナ危機を乗り越える。
- ポストコロナに向けた基盤づくり
- 子どもを安心して「産み育てる」
- 災害からの復旧復興。
- 将来の発展基盤の充実。
- 住みなれたところで「働く」
- 長く元気に「暮らす」



福岡県のリーダー 服部誠太郎知事

県民の気持ちが変わる。職員が気持ちが変わる。議会との信頼が築ける。

福岡県総務企画地域振興委員長 神崎 聡

2月定例会では、コロナ禍中の高校生達の進路について一般質問致しました。冒頭に高校生から「人生とは何ですか」と問われた話をし、教育長にこれから人生を切り拓く高校生に力強いメッセージを求めました。私からも社会へと巣立つ若人に一言、メッセージを贈りたいと思います。

人生には実に様々な転機や失敗、挫折、試験が待ち構えています。受験、就職、結婚、転職や退職、親との死別・・・

人生という山登りは決して平坦なものではありません。時には歯を食いしばって急な斜面を登り、時には崖に落ちないように一步一步慎重に進み、山あり谷あり、それが人生というものだと思えます。

いつの日か、登ってきた山々を振り返ってみると、そこにはなかなか曲線の山々を眺めることができず、人生とはまるで山の稜線のようにあります。

社会へと巣立つ若人に一言、「山を登ることは努力の一步、人生を切り拓くことも努力の一步」



一、大学入試改革及び新型コロナウイルス感染症の影響による進路指導について

《神崎議員》

緑友会福岡県議団の神崎聡です。3月1日は多くの高等学校の卒業式でありました。私が卒業したのが、ちょうど40年前になりました。そして、光陰矢の如し、歳月はアツという間に経ってしまします。何年か前に母校県立田川高等学校で全校生徒に「水平線上に突起をつくれ!」という演題で、講演する機会がありました。講演後に、質問時間がとられていました。一人の生徒から「人生とは何ですか?」という、哲学的な質問を受けました。私はとつさに、次のように答えました。

「人生という漢字には、四つの読み方ができます。それは、人が生まれる事。人が生きる事です。これからの皆さん方の人生は、人を生かす事、そして人を生む事です。」

「うおー!」という響めきが講堂の中に響きました。実はこれ、結婚披露宴の時の私の定番の来賓祝辞でありまして、まさか高校生に、結婚披露宴での挨拶の一部を話すとは思いませんでした。来賓挨拶というのは、どこでどう役に立つのかわかりません。

そこで教育長にお尋ね致します。教育長、人生とは何なんでしょうか。これから人生を切り拓いていこうとする福岡県の高校生・若人たちに、教育長から、力強いメッセージを一言お願い致します。

《城戸教育長》

この度、高校を卒業された皆さんは、新型コロナウイルスの影響で、思い描いていたような学校生活を送れず、不安や悩み、焦り、くやしさをたくさん感じながら最後の1年間を過ごされたことと思う。

しかし、苦しみやつまずきの多かったこの1年間で、逆境を乗り越える精神力や、人の喜びや悲しみに寄り添う心、他者と協力して新たな価値を生み出す力の大切さにも気付いたのではないかと思います。

未来を担う若者には、この経験を糧に、自分の目標に向かって挑戦を続け、若者らしい自由で豊かな発想と行動力で人生を切り拓き、社会に新たな希望をもたらす原動力となることを期待している。

《神崎議員》

今年の大学受験は、受験生にとって五重苦とも言われました。これまでのAO(アドミッション・オフィス)入試が「総合型選抜」に、従来の推薦入試が「学校推薦型選抜」へと変わりました。そして、これまでの大学入試センター試験から代わったのが、「大学入学共通テスト」で、去る1月16日、17日に行われました。この大学入学共通テストは、当初、入試改革の目玉とされていた「英語民間試験」と「記述式問題」の導入が見送られるなど、国の対応が現場の混乱を招きました。また文部科学省による入学定員が厳格に管理され、受験生にとっては、大変厳しい入試となりました。さらに追い打ちをかけるように襲いかかったのが新型コロナウイルスであります。

私には4人の子供がいますが、その末っ子が今年大学受験となりました。これまでの子供たちとはまったく異なる入試制度と環境に、本人はもとより、親としても戸惑い、翻弄され、不安を抱えながらの受験となりました。

今回、保護者の立場で大学受験に関わり、いくつかの諸課題が見えてきましたので、来年度以降の入試を見据えて、教育長に質問します。

これまでの大学入試とは大きく変わった要因は、やはり「高大接続改革」の影響によるものだと考えます。高大接続改革とは、高校教育と大学教育、またそれらをつなぐ大学入学者選抜を、ひとつのつながりとして教育を行うことを目的とした取り組みのことで、文部科学省が推進しております。

これまでの大学入試は、高校教育で優れた成績、或いは入試により高得点を獲得した受験生が合格していました。しかしながら、本来、高校教育や大学教育というのは、社会の中で生きる力を学ぶものであり、大学受験における点数の良し悪しだけで評価されるものではありません。したがって、高校と大学の接点を増やし、高校生・大学生の学習意欲を高めるために、高大接続改革の必要性が議論されるようになったんだと、私は認識しています。そのため、これまで高校と大学をつないでいた「大学入試」を大幅に見直し「大学入学共通テスト」を導入し、総合型選抜・学校推薦型選抜を含め、出題傾向や審査基準などを大きく変えたということでありす。

そこで大学入試改革により、高等学校の学習指導、進路指導の課題について2点、教育長にお尋ね致します。

一つ目は、新たな入試に対応した指導、授業のあり方はどのように変わったのですか。また変えようと考えているのですか。

二つ目に、個別選抜に関して、入試の多様化への対応をどうされていこうとお考えでしょうか、お尋ね致します。

《城戸教育長》

①新たな大学入試に対応した指導や授業のあり方について

大学入学共通テストは、いわゆるセンター試験と比べ、知識のみで解答できる問題が減り、理解の質を問う問題や、日常生活から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面など、学習の過程を意識した問題が増えている。このような入試に適切に対応するには、知識・技能の確実な修得とこれを基にした「思考力・判断力・表現力」や「柔軟な発想で課題を解決する能力」を育成することが求められる。

このため今日の各学校においては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、課題についてグループで共に考え、学び、豊かな発想が生みだれる授業や、現実の課題を考える中で学んだ知識がつながり、驚きや感動を伴う授業などが取り組んでおり、今後ともこうした授業改善を促進してまいります。

②大学入試の多様化への対応について

大学入試には、「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」などの方式があり、特に私立大学においては、大学入学共通テストを利用する方式や一般テストと大学入学共通テストを併用する方式もあるなど、複雑化している。

また、インターネットによる出願が主流になりつつあり、従前よりもきめ細かな指導が必要となっている。

このため、担任が責任を持って生徒の希望に沿った入試制度の情報収集・整理を行うことを基本としつつ、担任間、あるいは担任と進路指導担当者が連携した指導、さらには、大学による説明会を学校で実施することなどにより、生徒が適切に進路を選択できるよう努めてまいります。

《神崎議員》

大学入試改革に加え、令和2年4月7日には緊急事態宣言が発出され、学校現場では、臨時休校による生徒の学習の遅れや、中間・期末テスト等の成績、健康観察から消毒液の手配まで、様々な対応に翻弄され続けたと思います。

進路指導に係る主な課題をあげますと、「臨時休校、分散登校中の学習の遅れ」、オンライン授業の限界もあつたと思いますし、リモート学習も行われていない学校もあつたと思います。授業確保のためタイトなスケジュールに加え、3密を避けるための進路説明会、保護者説明会、3者面談などの実施方法の変更や入試選抜方法の多様化、入試日程の変化への対応、高大接続改革、コロナ禍の変化についていけない職員への意識改革等々、課題を挙げるときりがありません。

一方、受験生の方では、コロナ禍で弱気になり、希望する大学をワンランク落として、安全志向による出願に踏み切った受験生も多々いたのではないかと推測されます。だからこそ、各学校の進路指導において、模試データの分析結果などを活用し、自信を持たせるよう丁寧な進路指導をしていく必要があるのではないかと感じました。

また、急変する家庭の経済状況に直面する生徒への支援も必要ではないでしょうか。家庭の状況が厳しくなり、大学志望だった生徒が、専門学校や就職へと進路を変更する状況も全国では起こっているという報道もありました。

教員一人ひとりが奨学金の制度などをよく理解し、この件についても丁寧な進路指導を行うっていく必要があります。

教育長、今年の学校現場での学習指導、進路指導は適切に行われたと考えますか。学校現場の対応と教育長の所見をお聞かせ下さい。





《城戸教育長》

今年度の学校現場での学習指導・進路指導について、大学入学共通テストでは、英語民間検定試験の活用や国語と数学の記述式問題の実施が見送られたものの、問題の質は変化している。県立高校においては、その変化を想定して柔軟かつきめ細かな指導を行ってきた。また、家庭の経済状況の急変に対応するため、あらかじめ日本学生支援機構の奨学金制度についての周知を行うほか、主に生活困窮世帯の生徒に対して、進路支援コーディネートが様々な奨学金制度を紹介するなど丁寧な進路指導が行われている。

《神崎議員》

来年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くのであれば、今年度の課題を踏まえた具体的な対策を講じなければなりません。特に学習指導においては、臨機応変な学校体制の構築が急務であります。臨時休校、分散登校、時差短縮授業における授業の遅れを取り戻すためにどうするのか。年間進路指導計画、成績会議、調査書発行、推薦会議のスケジュールを柔軟に対応できるように学校長のリーダーシップとマネジメント、経営力が問われます。

県教委におかれましては、各学校の先進的事例や実施状況など情報を共有させ、学校間の横断的な取り組みをスピーディに対応しなければなりません。教育長の責任は重大です。教育長の決意を伺います。



《城戸教育長》

来年度の学習指導の具体的な対策について、県立高校では、今年度の臨時休業期間中にオンライン学習の取組が始まり、現在、全校において実施が可能となっている。

また、通常時においても、ICTを活用した指導と従来の対面型指導の最適な組み合わせによる「新しい教育様式」を確立する取組を推進している。

県教育委員会としては、教員のICT活用指導力研修の充実を図るとともに、学校がオンラインで相互に取組事例を共有できる仕組みを整え、県立高校全体の学習指導体制の充実を図る決意です。

《神崎議員》

次に県立高校の就職内定状況と来年度の取り組みについてお尋ね致します。

我が会派の代表質問で、県立高校の内定状況は令和3年1月末現在で、96.5%になったことがわかりました。ほぼ例年並みということで、県教委、関係機関の努力が功を奏し、少し安堵致しました。と申しますのも福岡労働局が発表した、昨年10月末現在の卒業見込みの県内の高校生に関する就職内定状況を見ても、求職者6,247人、内定者は3,851人で、内定率は前年同期比16.6ポイント減の61.6%となっていました。もちろん新型コロナウイルスによる休校に伴って選考開始が1か月遅れたことも要因の一つでありましたが、非常に厳しい状況でした。

そして福岡労働局によると、緊急事態宣言でハローワークを訪れる人が減ったことが影響しているものとみられますが、本県の1月の有効求人倍率は、就業地でみずと0.94倍となっており、飲食や宿泊業を中心に依然、低い水準で、厳しい雇用情勢が未だ続いております。

航空会社や大手旅行代理店、金融機関等々、希望早期退職や出向など、そして新規採用が抑制され、採用見送りの動きが広がっている現状の中、私たちは、第2の就職氷河期世代を生むような事態は何としても避けねばなりません。バブル崩壊に伴う1990年代半ば以降の就職氷河期世代が、今日でも社会全体として大きな問題となっていることを考えると、むしろ来年度以降の就職状況を注視していかなければならないと考えます。

そこで教育長にお尋ね致します。今年の春に県立学校を卒業する高校生で、未だ就職が決まっていない人数をお聞かせ下さい。その方々の今後の進路については、どのように考えているのか。高校とハローワークや若者就職支援センターとの情報共有、連携など今年度の課題を踏まえ、来年度の取り組みをお尋ね致します。

《城戸教育長》

県立高校卒業後の就職未決定者と今年度の課題を踏まえた来年度の取組について、県立高校における本年1月末時点の就職未決定者は、117名である。

これらの生徒については、引き続き丁寧な就職支援を行い、卒業後も本人の状況や希望に応じて連絡を取り、ハローワークや若者就職支援センター等と連携した求人情報の提供や会社説明会の案内など、きめ細かな支援を継続することとしている。

また、来年度は就職指導員を年度当初から配置し、学校を挙げての就職指導の充実さらに取り組んでまいります。



2月定例会総務企画地域振興委員長報告

2月定例会は、令和3年2月22日から開会され、3月24日までの31日間の会期で審議が行われました。

定例会には、国の補正予算に係る総合経済対策の効果を速やかに発揮させるための令和2年度補正予算議案1件、これと一体となった14ヵ月予算となる令和3年度当初予算議案20件、「福岡県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について」など条例議案13件、専決処分したものについて報告し承認を求める議案1件、契約の締結に関する議案4件、経費の負担に関する議案2件、人事に関する議案6件、その他の議案3件、計50件が提出されました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策、知事選挙及び県議会議員補欠選挙の実施、その他県政運営上上年度内に措置する必要がある経費を追加するための令和2年度補正予算議案11件、経費負担に関する議案9件の計20件が追加提案されました。

審議の結果、提出された70件について、いずれも原案の通り可決、承認または同意されました。

(一般会計当初予算2兆1,361億円 前年比15.4%増 過去最大規模)



総務企画地域振興委員会管内視察（みやま市）

①統廃後の校舎活用

「ルフラン」では、松嶋みやま市長より、みやま市及び施設の紹介があり、担当課長より、「フルラン」旧山川南部小学校（統廃後）の校舎を利用した地域活性化策について、総合施設として、「ルフランカフェ」「食品加工室」「シェアオフィス」の説明を受けました。

また、運動場跡地には、生ごみ・し尿等をバイオマス資源として活用するための施設「バイオマスセンター」が建設されています。



②筑後広域公園

みやま市と筑後市に広がる多目的公園で、説明では大濠公園の5倍の広大な土地192.6ヘクタールもあり、みやま市側にある「人工芝球技場」「スケートボード場」の施設を視察してきました。



略歴

昭和53年 添田町立添田中学校卒業
昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
昭和60年 日本大学法学部会計学科卒業
昭和60年 麻生セメント株式会社入社
平成2年 株式会社麻生情報システム転籍（分社化）
平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
平成23年 福岡県議会議員（田川郡区） 初当選
平成27年 福岡県議会議員（田川郡区） 2期目当選
平成31年 福岡県議会議員（田川郡区） 3期目当選

福岡県議会での主な所属

緑友会福岡県議員団 幹事長
県総務企画地域振興常任委員会 委員長
福岡県住宅供給公社評議員会 評議員
公益財団法人福岡県国際交流センター 理事
福岡県地域交流推進協議会 委員
スポーツ立県調査特別委員会 委員
福岡県文化議員連盟 副会長
福岡県タイ友好議員連盟 副会長
福岡県森林・林業・林産物活性化促進議員連盟 副会長
福岡県日韓友好議員連盟
福岡県日米友好議員連盟
福岡県日中友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
福岡県ベトナム友好議員連盟
福岡県日台友好議員連盟
福岡県防衛議員連盟
福岡県果樹振興議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
産地地域活性化対策福岡県議員連盟
オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
福岡県観光産業振興議員連盟
福岡県スポーツ議員連盟
九州・沖縄未来創造会議
九州の自立を考える会
日本会議福岡支部 幹事
田川地方パイプライン延伸推進期成会 顧問
田川広域観光協会 理事
下関九州道路整備促進福岡県議員連盟
JR日彦山緑地ヒト協賛会 委員



令和3年1月
1月6日 議員総会・政策審議会
1月8日 福岡県文化振興議員連盟管内視察
1月10日 成人式
1月12日 総務企画地域振興委員会
1月12日 議員総会・政策審議会
1月15日 議員総会・政策審議会
1月15日 令和3年1月臨時県議会
1月15日 上田川「イグザ」グア例会
1月19日 治山・河川行政に関する調査活動
1月20日 教育行政に関する調査活動
1月20日 J Aグループ、農政連からの緊急要望
1月21日 新型コロナウイルス対策会議
1月22日 新型コロナウイルスに関する調査活動
1月25日～28日 新型コロナウイルス調査活動
1月28日 総務企画地域振興委員会正副勉強会
1月28日 政策審議会
令和3年2月
2月1日～5日 新型コロナウイルス調査活動
2月1日 金融政策に関する調査活動
2月4日 政策審議会
2月8日 九州各県議会交流zoomセミナー
2月8日 政策審議会
2月9日 総務企画地域振興委員会、管内視察

福岡県の新しいリーダーを選ぶ県知事選挙が実施されました。

糸田町で



川崎町で



大任町で



赤村で



2月10日 治山、道路行政に関する調査活動
2月11日 地元企業より陳情（金融関係7件）
2月12日 九州の自立を考える会シンポジウム
2月15日 代表者会議・議運・議員総会
2月16日 令和3年度予算勉強会
2月17日 福岡県日田彦山線沿線地域振興協議会
2月18日 農林行政に関する調査活動
2月19日 教育行政に関する調査活動
2月22日～3月24日 2月定例県議会
2月22日 総務企画地域振興委員会
2月22日 議員総会
2月22日～3月1日 政策審議会
2月26日 高齢者福祉に関する調査活動
3月4日～9日 一般質問
3月4日 福岡県日友好議員連盟
3月4日 福岡県文化議員連盟
3月5日 総務企画地域振興委員会
3月5日 森林・林業・林産物活性化議員連盟
3月8日 県議会常任委員長会議
3月8日 総務企画地域振興委員会正副勉強会
3月9日 予算特別委員会
3月10日～11日 総務企画地域振興委員会
3月14日 香春町議会議員選挙投票開票日
3月15日 福岡県知事選挙選対会議
3月15日～22日 予算特別委員会
3月18日 福岡県知事選挙選対会議
3月19日 22日 24日 総務企画地域振興委員会
3月25日 福岡県知事選挙告示日
3月26日 福岡県国際交流センター理事会
3月28日 大任町長選挙投票開票日
令和3年4月
4月2日 福岡県議員補選告示日
4月2日 香春町立香春思永館落成式
4月7日 県立高校入学式
4月8日 福岡県知事候補田川地域遊説街頭演説
4月11日 福岡県知事選挙・県議員補選投票開票日
4月13日 田川地区県立高校校長との意見交換
4月14日 15日 県執行部との意見交換
4月16日 小郡市長選応援
4月18日 小郡市長選挙告示日
4月20日 代表者会議・議員総会
4月21日 県土整備に関する調査活動他
4月22日 川崎町長～県知事表敬訪問
4月23日 川崎町議会～県知事表敬訪問
4月27日 臨時県議会、議員総会、政策審議会

こうざき事務所

〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417

TEL: 0947-82-5559 FAX: 0947-82-5533

こうざき ホームページ

こうざきさとし

検索